

平成29年度 第4回 練馬警察署協議会 議事概要

開催日時 平成30年03月07日 午後04時00分～午後04時50分

開催場所 当署5階 講堂
出席者 協議会委員 6名
署長ほか 2名

内 容

[業務説明]

- 1 平成29年中の事件・事故の発生状況
 - (1) 刑法犯認知件数
 - (2) 犯罪の傾向と特徴
 - (3) 交通人身事故の発生状況
- 2 駐車違反の実態・取締り状況
 - (1) 駐車違反に起因した交通事故の発生状況
 - (2) 取締り活動ガイドラインの見直し
 - (3) 平成29年中の駐車違反の取締り状況

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
新入学の時期を控える子どもを事件・事故から守る方策の推進
 - (1) 事件から守る方策
 - ア セーフティ教室
 - イ 不審者侵入訓練
 - ウ 下校時のパトロール等
 - (2) 事故から守る方策
 - ア スクールゾーンでの取締り
 - イ 交通安全教室の実施
 - ウ 通学路交通安全呼びかけ隊による活動の推進等
- 2 警察署協議会からの意見要望等
新入学の時期は、子ども達が親御さんの手を離れ、個々に行動する機会が多くなる。通学路の中には、見通しの悪い交差点や歩道のない場所があったり、また、不審者が出没することも考えられるので、子どもが犯罪や特に交通事故に遭わないように各種方策を推進していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 委員から「イヤホンやヘッドホンをしたり、スマートフォンを使用しながら自転車に乗っている人をよく見かける。取り締まって欲しい。罰則を厳しくすれば自転車マナーが良くなるのではないか。」との意見があった。
- 2 委員から「以前設置されていたカーブミラーが撤去されたことにより、見通しが悪くなり危険になった交差点がある。カーブミラーを撤去する場合は近隣住民の意見を聞いて撤去するかどうか検討する必要があるのではないか。」との意見があった。
- 3 委員から「駐車監視員の取締りは、重点路線や重点地域の中でも取締りのしやすい場所に偏っているように感じる。重点路線・地域の中で偏りのないよう均一に違法駐車を取り締まって欲しい。」との要望があった。
- 4 委員から「商業施設等が新しくできると、路上駐車や渋滞が増える。取締り活動ガイドラインはそのような実態も考慮して検討して欲しい。」との要望があった。

その他

次回(平成30年度第1回)の会議は、6月上旬に開催する予定とした。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第3回 練馬警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年12月04日 午後02時00分～午後03時00分

開催場所 当署5階 講堂
出席者 協議会委員 8名
署長ほか 2名

内 容

[業務説明]

- 1 平成29年度第2回協議会からの意見等に対する取組結果について
 - (1) 犯罪被害防止対策の強化推進
特殊詐欺被害発生状況を説明し、被害防止対策として、各種取組を実施した旨の説明をした。
 - (2) 交通取締り及び各種対策の効果的推進による重大事故防止
交通事故発生状況、特に高齢者の関与する交通事故について説明し、各種対策のうち、高齢者を対象とした交通事故防止対策に関する説明をした。
- 2 防犯カメラの導入促進について
 - (1) 管内防犯カメラ設置状況について
 - (2) 防犯カメラ導入に係る費用について
 - (3) 防犯カメラを活用した検挙事例紹介
- 3 その他検挙事例紹介
 - (1) 暴力団員に対する中止命令発出
 - (2) 集合住宅を狙った空き巣事件

[警察署の業務に関する意見等の聴取]

- 1 署長から協議会への説明内容
年末年始特別警戒の効果的推進による事件・事故の抑止
年末年始における
 - ・事件・事故の発生状況
 - ・年末年始特別警戒（一斉警戒、金融機関、コンビニエンスストア等への立寄り警戒）
 - ・飲酒・酒酔い運転に重点を置いた交通取締り
 - ・ひたたくり連続発生に伴う緊急対策
 等について説明した上で、事件・事故の効果的な抑止対策について、意見等を求めた。
- 2 警察署協議会からの意見要望等
年末年始は事件・事故が増加する傾向にあることはよく理解できた。抑止対策として例年と同様の施策をするだけでなく、事件であれば女性や高齢者、事故であればバイクや自転車など、ポイント・ターゲットを絞った対策をとることにより、より効果的に年末年始特別警戒を推進していただきたい。

[その他の意見要望等]

- 1 防犯カメラの設置について
 - (1) 委員から、「これから町会で防犯カメラの設置を考えているが、設置する際の注意点は何か。」との質問に対し、署長が、「防犯カメラを設置する角度や場所など、防犯係から詳細に説明をするので、防犯係に相談して欲しい。」と説明した。
 - (2) 委員から、「看板を設置するなど、防犯カメラを設置していることをアピールすることで防犯効果の向上に繋がると思う。」との意見があった。
- 2 その他
 - (1) 委員から、「近所の一方通行の道路を常習的に逆走するバイクを見かける。放置していると周辺の治安悪化にも繋がるので、早急にかんがえて欲しい。」との要望があった。
 - (2) 委員から、「自転車に乗りながら携帯電話で話している人をよく見かける。注意をしてやめさせて欲しい。」との要望があった。

その他 次回（平成29年度第4回）の会議は、平成30年3月上旬に開催予定とした。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第2回 練馬警察署協議会 議事概要

開催日時	平成29年09月29日 午後03時00分～午後04時20分		
開催場所	当署5階 講堂	出席者	協議会委員 9名 署長ほか 2名

内 容

【前回の答申等に対する警察署の取組結果】

- 1 昨今の練馬署の交通情勢に対応した諸対策の推進
 - (1) 秋の全国交通安全運動における取組
練馬区民のつどいの実施
(反射材の紹介、自転車シミュレーター、交通事故写真の展示等)
 - (2) 交通事故の特徴に基づいた取組
 - ア 高齢者
高齢ドライバー向けの四輪実技教室
 - イ 二輪車
主要交差点における交通取締り強化
オートバイストップ作戦における安全運転呼びかけ
 - ウ 自転車
自転車警告カードを活用した指導警告の実施
中学生に対するスケアードストレイトの実施
高校生ボランティアとの登校時マナーアップキャンペーン等
- 2 官民一体となった各種災害時における対応力の向上
 - (1) 地域住民との水難救助訓練
地域住民参加型の水難救助訓練、救命浮環の投擲訓練等を実施した。
 - (2) 災害時施設提供協定締結式
管内に所在する企業と大規模災害時における施設提供に関する協定を締結した。
 - (3) 震災警備総合訓練
東京地方に震度7の地震が発生したとの想定により、倒壊家屋からの救出訓練、信号滅灯時の手信号による交通整理等を実施した。
 - (4) 避難訓練コンサート
管内イベント施設職員と、練馬区、練馬消防署合同による、災害発生時における観客の避難誘導訓練等を実施した。

【業務報告】

前回会議以降の「ふれあい連絡協議会における住民の意見・要望に対する取組結果」、「各種犯罪の発生・検挙状況」等について報告した。
 その中で、生活相談、わいせつ事犯、特殊詐欺の現況、検挙事例や被害防止対策等について説明を行った。

【諮問】

- 1 犯罪被害防止対策の強化推進
- 2 交通取締り及び各種対策の効果的推進による重大事故防止

【答申】

- 1 特殊詐欺の被害を 방지、住宅街の暗い夜道での痴漢等の住民に身近な犯罪を防止するために、高齢者宅への戸別訪問やパトロールをより強化するなど地道な犯罪被害防止対策を強化推進していただきたい。
- 2 これから日が短くなり、夕暮れ時間帯の交通取締りや、高齢者に対する運転免許証の返納勧奨など、交通取締りや高齢者等に対する事故防止対策を効果的に推進していただき、重大交通事故を防止していただきたい。

【意見・要望等】

- 1 特殊詐欺被害防止対策について
 - (1) 委員から、「詐欺対策には、高齢者宅への戸別訪問や無人のATM警戒等の地道な活動が最善策だと思います。」との意見があった。
 - (2) 委員から、「詐欺電話を受けないために、自宅の電話をFAX優先にしています。そうすると、最初の4コールはFAX、5コール目以降でないとは電話は鳴らないので 余程用がある人以外からは電話は架かってきません。」との意見があった。
 - (3) 委員から、「録音機能付きの電話は、取り付けられる機種に制約がある。どんな機種にでも取り付けられるようにならないか。」との意見に対し、署長が、「録音機能を取り付けられる機種に制約はありますが、現在、防犯グッズ「見張ちゃん」を配布して詐欺被害防止を呼びかけています。」と回答した。
- 2 防犯カメラの設置について
 - (1) 委員から、「痴漢などの犯罪が発生するのは、街灯のない暗い住宅街が多いことが原因だと思います。街灯や防犯カメラを設置することが犯罪予防に繋がるのではないか。」との意見があった。
 - (2) 委員から、「町会で防犯カメラを設置する方向で進んでいるが、維持費をどうするのかが悩んでいる。何か良い方法はないか。」との意見があり、署長が、「今後検討していきます。」と回答した。
- 3 高齢者の運転免許証返納について
 - (1) 委員から、「高齢者の事故を防ぐには、高齢者に免許を返納させ、運転をさせないことが一番だと思います。」との意見があった。
 - (2) 委員から、「高齢者に免許を返納させるためには、医師や高齢者講習で教官から免許を返納するよう促すことが良いのではないか。」との意見があった。
 - (3) 委員から、「免許証の更新時に警察官から免許証を返納するよう働きかけるのが効果的ではないか。」との意見があった。
 - (4) これらの意見に対し、署長から、「家族から運転免許証を呼びかけていただくのが第一ですが、警察としても、更新時や各種取扱時に高齢者に対して免許証の返納を呼びかけ、高齢者の事故防止を図っていきます。」と回答した。

その他	次回(平成29年度第3回)の会議は、平成29年12月初旬に開催予定とした。
-----	---------------------------------------

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成29年度 第1回 練馬警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年06月11日 午前09時35分～午前11時15分

開催場所 当署1階 署長室
出席者 協議会委員 8名
署長ほか 2名

内容

委員の互選により、会長を関東委員、副会長を長谷川委員と小宮委員に選任した。

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

- 1 春の全国交通安全運動の効果的推進と重大交通事故防止対策の推進
 - (1) 実施概要報告
 - (2) 交通事故防止対策実施結果
 - ア 練馬交通安全のつどい
 - イ 安全教室、四輪・二輪車実技教室
 - ウ 各種キャンペーン等
- 2 特殊詐欺をはじめとする各種犯罪の予防と検挙活動の推進
 - (1) 防犯グッズ「見張(みはり)ちゃん」を活用した防犯対策の推進
 - (2) 特殊詐欺犯人検挙事例
 - ア 遺失物名下オレオレ詐欺事件犯人の検挙
 - イ アダルトサイト閲覧名目架空請求詐欺犯人の検挙
 - (3) 合同テロ対処訓練の実施

[業務報告]

- 1 警務課
 - (1) 警察官採用試験への受験勸奨活動の推進
 - (2) 幼稚園児、小中学生に対する広報活動「ウェルカムけいしちょう」の実施
- 2 地域課
 - (1) ふれあい連絡協議会を通じた地域住民の意見・要望の把握
 - (2) ふれあいポリス、駐在所勤務員と地域住民との合同パトロールの実施

[諮問]

- 1 昨今の練馬署の交通情勢に対応した諸対策の推進
- 2 各種災害時における対応力の向上について

[答申]

- 1 練馬署では高齢者や自転車・二輪車が関わる事故が多いので、交通事故を防止するために、高齢者等に加え、子どもに対する安全教室やキャンペーンなどの対策を推進していただきたい。
- 2 災害や国際テロはいつ起きるか分からないので、普段から住民や関係機関と連携できる協力体制を築き、各種災害時における対応力の向上を図っていただきたい。

[意見・要望等]

- 1 委員から、「自転車の交通マナーが悪いのが気になります。自転車は平気で信号無視をしたり、歩行者を無視して歩道を走ったりするので、指導・取締りを厳しくしてほしい。」との要望があった。
要望に対し、署長が、「練馬署としても交通事故防止には自転車マナー改善が課題であると捉えており、現在も自転車への指導・取締りを行っています。夏季に向け学生等の自転車利用が増えることから、自転車指導・警告カードを活用して指導・取締りを強化します。」と回答した。
- 2 委員から、「大人は子どもにも注意されると意外と素直に言うことを聞くと思うので、自転車や歩行者の交通マナーを浸透させるためには、子どもへの広報啓発活動を中心に進めてみてはどうか。」との意見があった。
- 3 委員から、「幹線道路は、警察官や駐車監視員が取締りを行っているのですが、住宅街に路上駐車している車が増えているように感じる。住宅街の路上駐車が増えると高齢者や自転車の交通事故が増えるのではないかと感じます。取り締まるばかりでなく、幹線道路に駐車可能場所があれば交通事故や駐車違反が減ると思います。」との意見があった。
- 4 委員から、「日頃から大きな災害があれば協力したいと思っています。防災力を向上させるには、管内の建設業者などが保有している重機の種類や車両ナンバーなどを詳しく把握し、普段から協力し合える体制があると良いと思います。」との意見があった。
意見に対し、署長が、「現在も管内の重機取扱業者と災害時の車両提供協力に関する協定を結んでおり、練馬パートナーシップを強力に推進して官民一体となった連携の確立に向け、取り組んでいるところです。平素から地域との連携を密にし、各種災害時に迅速・的確に対応できる協力体制の構築を図ります。」と回答した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第4回 練馬警察署協議会 議事概要

開催日時 平成29年03月13日 午後03時00分～午後04時40分

開催場所 練馬警察署 5階講堂
出席者 協議会委員 9名
署長ほか 1名

内容

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

答申事項1の「各種対策の推進による年末年始における犯罪の抑止」については、年末年始特別警戒の実施及び特殊詐欺被疑者を検挙した。答申事項2の「高齢者をはじめとする住民に対する広報啓発活動による特殊詐欺被害の防止」については、協力団体、地域住民と協力した各種広報啓発活動を実施した。答申事項3の「重大交通事故防止対策の推進」については、交通安全活動推進委員との活動、二輪車ストップ作戦、保育園児に対する安全教室を実施した。

[業務報告]

前回の協議会以降の各課の取組み、署行事等業務推進結果について報告を行った。

[諮問]

- 1 春の全国交通安全運動の効果的推進と重大交通事故防止対策の推進
- 2 特殊詐欺をはじめとする各種犯罪の抑止・検挙

[答申]

- 1 春の全国交通安全運動の効果的推進による死亡事故の抑止を図ってほしい。
- 2 特殊詐欺をはじめとする各種犯罪の予防と検挙活動の推進してほしい。

[意見・要望等]

- 1 委員から「委員になってから世間を厳しい目で見えるようになった。警察だけが頑張っても、住民一人一人がいい方向に向いていかないとだめだと感じた。」と発言があった。
- 2 委員から「一人暮らしの方が多くなったように思う。地域警察官には、独居老人などをしっかり把握してほしい。」との意見があった。
- 3 委員から「これから花見の季節になる。酔っ払い等の事象が増えると思うが、引き続き頑張ってもらいたい。」との要望があった。
- 4 委員から「民生委員をしているが、担当する地域で認知症の老人が多い。そうした老人のデータを民生委員は把握しているのだから、ぜひ警察に協力させてもらいたい。また、シェアハウスが増えている。様々な問題が出てくるのではないかと心配している。」との意見があった。
署長から「シェアハウス、民泊は法整備も進んでいる。不良外国人、テロリストが居住する可能性もある。東京2020に向けて対応をとりたい。」と回答した。
- 5 委員から「近所でタクシーが歩行者4名をはねるといった事故があった。歩道がない路地裏では車両を運転する私たちが優しい目を持っていかなければならないと思った。」との発言があった。
- 6 委員から「私の会社の周りでトラブルがあった。何か対策はできないか。」との意見があった。
署長から「当署は警視庁全体で生活相談件数が1位。私たちは、DV・ストーカー事案、近隣トラブルに注目している。これらは重大事件に発展しやすい。情報をいただきたい。」と発言があった。
- 7 委員から「海外だと、横断歩道に段差をつけて徐行させるような措置をとっている。何かできないか。」との意見があった。
署長から「歩行者妨害の取締りを強化していきたい。」と回答した。
- 8 委員から「職場付近の道路に、自転車通行帯ができた。ここにトラックが駐車してあまり意味がないように思う。逆に歩道に自転車通行帯を作った方が良いのではないかと心配している。」との意見があった。
署長から「自転車通行帯については、自治体と協力して検討していきたい。」と回答した。
- 9 委員から「当時神奈川県に居住していた次男が泥棒に遭った。私の会社もやはり泥棒の被害を受けた。それぞれ別の犯人を練馬署が捕まえてくれた。非常に頼もしい。」との意見があった。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第3回 練馬警察署協議会 議事概要

開催日時 平成28年12月15日 午後03時00分～午後04時20分

開催場所 当署5階 講堂
出席者 協議会委員 8名
署長ほか 1名

内 容

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

- 1 「犯罪被害防止の広報啓発活動の推進」について
 - (1) 全国地域安全運動の実施
 - (2) 特殊詐欺および危険薬物の根絶に係る協定の締結
 - (3) 特殊詐欺根絶プロジェクトチームの結成
 - (4) 地域ふれあい旬間の実施
 - (5) コンビニ強盗訓練の実施
 - (6) 不審者対応訓練の実施
- 2 「重大交通事故防止対策の継続的推進」
 - (1) 交通安全教室の実施
 - (2) 高齢者・自転車事故防止キャンペーンの実施
 - (3) 二輪車ストップ作戦の実施
 - (4) トラックストップ作戦の実施
 - (5) TOKYO交通安全キャンペーンの実施

[業務報告]

前回の協議会以降の各課の特異取扱い、署行事等について報告を行った。

[諮問]

- 1 年末年始特別警戒の実施による各種犯罪の防止と検挙
- 2 特殊詐欺の抑止・検挙
- 3 重大交通事故防止対策の推進

[答申]

- 1 各種対策の推進による年末年始における犯罪の抑止
年末年始は重大事件が発生することから、犯罪抑止に努めていただきたい。
- 2 高齢者をはじめとする住民に対する広報啓発活動による特殊詐欺被害の防止
特殊詐欺の発生、被害額が多いことから、特殊詐欺の抑止と検挙に努めていただきたい。
- 3 重大交通事故防止対策の推進
高齢者をはじめとする重大交通事故防止対策を推進し、交通死亡事故の抑止に努めていただきたい。

[意見・要望等]

- 1 委員から「高齢者の交通事故が多いと言われているが実際はどうか。また、高齢者事故に対する対策が必要なのではないか。」との意見があった。署長から「長寿社会の進展に伴い、高齢者の人口増加とともに実際に高齢者の事故は増加している。免許証の自主返納制度を活用し、高齢者の事故増加に歯止めをかけたい。」と回答した。
- 2 委員から「練馬駅前の繁華街で、目立って呼び込みが見られる。また、その中には若い女の子もいる。取締の強化をしていただきたい。」との意見があった。署長から「更なる取締を強化していきたい。」と回答した。
- 3 委員から「今年の冬休みは例年より長くなる。暗くなるのが早くなるので事故等がなければいい。夕べの鐘が鳴っても帰らない子供たちに声かけをしていきたい。」との意見があった。
- 4 委員から「練馬駅の繁華街の真ん中に住んでいる。新しい店が増えているようだ。警察官が見回りをしていない時間帯も、気にかけてほしい。」との意見があった。署長から「東京2020オリンピック開催に伴い、外国人向けの店が増えている。それらをしっかりと把握していきたい。ぜひとも情報提供をお願いしたい。」と回答した。
- 5 委員から「被害者が共犯者になるように仕組むタイプの詐欺が増えていると聞いた。それにより被害者が通報をためらう傾向にあるようだ。通報できるようなシステムを構築していただきたい。」との意見があった。
- 6 委員から「これから町会は夜警のシーズンに入るが、夜警はほとんどが年末しかやらない。今後は定期的に夜のパトロールをしていきたい。」との意見があった。
- 7 委員から「福岡で発生した、偽の警察官に6億円の金塊を盗まれたというニュースが気になる。警察官を騙る手口と聞いているが、制服の管理体制の見直しが必要なのではないか。」との意見があった。署長から「過去にはインターネットで制服が出回ったが、現在は、支給数、廃棄数とすべて管理されている。万全を期していきたい。」と回答した。

その他

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第2回 練馬警察署協議会 議事概要

開催日時 平成28年09月29日 午後03時00分～午後04時30分

開催場所 本署講堂
出席者 協議会委員 8名
署長ほか 1名

内 容

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

- 1 「夏期における女性と子供を犯罪から守る活動の推進」について
 - (1) 性犯罪被疑者を検挙した
 - (2) 協力団体・区等と合同で広報啓発活動を実施した。
- 2 「重大交通事故防止、特殊詐欺等被害防止対策の推進」
 - (1) 交通安全スタンプラリーを実施し、交通安全意識の向上を図った。
 - (2) 委員から答申のあった、自転車ナビマークの設置を行った。
 - (3) 特殊詐欺被疑者を検挙した。
- 3 「災害に強い街づくりの推進」
 - (1) 地域住民と連携した防災訓練を実施し、防災意識の浸透を図った。
 - (2) 震災警備総合訓練を実施し、地域住民に披露した。
 - (3) 大震災発生を想定し、多数死体取扱い訓練を、医師会・区と合同で実施した。

[業務報告]

前回協議会以降の各課の「特異取扱い」、「署行事」等業務推進結果について報告を行った。

[諮問]

各種警察活動の推進による事件事故の防止

[答申]

- 1 犯罪被害防止の広報啓発活動を積極的に行い、地域住民の防犯意識を高めていただきたい。
- 2 現在実施している重大交通事故防止対策を継続していただきたい。

[意見・要望等]

- 1 委員から「春日町交差点を側道から環八へ進入する場合、環八本線から右折待ちをしている対向車と接触しそうで危険です。」との意見があった。
- 2 委員から「平和台駅から氷川台駅に向かったの道路は、自転車の交通量が多く、自転車の通行マナーが悪くて危険です。」との意見があった。
- 3 委員から「放置自転車が減りました。マナーはよくなったと思います。」との意見があった。署長から「放置自転車対策は区と連携して取り組んでいます。個別の放置自転車は110番していただければ対応します。」と回答した。
- 4 委員から「小学校でのセーフティ教室を見に行ってきます。また、高齢者の認知症患者が増えているように思いますので、振り込め詐欺被害が心配です。」との意見があった。署長から「5月に子供の事故が増えたため、交通安全教室を開きました。570名に実施しました。また、高齢者の振り込め詐欺防止については、録音機能付き電話の設置を促進して、被害防止に努めています。」と回答した。
- 5 委員から「信号機のない横断歩道は、90%の車が止まらなるとニュースで見ました。取り締まる方法はないのですか。」との意見があった。署長から「歩行者妨害で取締を強化していきます。」と回答した。
- 6 委員から「代表者会議に出席してきましたが、各署の答申に対する取組が参考になりました。また武道始式は、警察はいざというとき何でもできるという姿勢を見ることができいい機会だと感じました。」との意見があった。
- 7 委員から「狭い道でも自転車ナビマークのような目印を設置してほしいです。」との意見があった。

その他

第3回警察署協議会の開催は12月を予定している。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。

平成28年度 第1回 練馬警察署協議会 議事概要

開催日時 平成28年06月20日 午後02時30分～午後04時30分

開催場所 署長室
出席者 協議会委員 8名
署長ほか 1名

内容

[前回の答申等に対する警察署の取組結果]

答申事項の「春の全国交通安全運動と重大交通事故防止対策の推進」、「特殊詐欺をはじめとする各種犯罪の抑止・検挙対策の推進」については、署独自のイベントの開催をはじめ、協力団体、地域住民との協力によるキャンペーン等の広報啓発活動を行い、重大交通事故と特殊詐欺被害防止に努めた。また、「伊勢志摩サミットの開催に伴う、管内のテロ防止対策」では、管内のソフトターゲットに対する警戒を強化して不法事案を未然に防止した。

[業務報告]

前回協議会以降の各課の「特異取扱い」、「署行事」等業務推進結果について報告を行った。

[諮問]

- 1 夏期における女性・子どもを守る各種活動の推進
- 2 重大交通事故、特殊詐欺等の防止対策の推進
- 3 災害に強い街づくりの推進

[答申]

- 1 女性と子どもが安心して生活できる街を実現していただきたい。
- 2 「交通死亡事故0」の継続と特殊詐欺被害防止に取り組んでいただきたい。
- 3 地震や大雨などの災害対策に積極的に取り組んでいただきたい。

[意見・要望等]

- 1 委員から、「道路上での、歩行者優先意識が希薄なドライバーが多いと思う。」との意見に、署長が「取締りやキャンペーンなどを通じて啓発していきます。」と回答した。
- 2 委員から、「若い女性で両耳にイヤホンをつけている人が多く、交通事故やわいせつ被害に遭うのではないかと心配です。」との意見があった。
- 3 委員から、「中学校のセーフティ教室に参加したとき、スクールサポーターの自殺防止のお話しがすばらしかったです。」との意見があった。
- 4 委員会から、「先月、近くで放火がありました。パトロールの強化をお願いします。」との要望に対し、「警戒を強化します。不審者を見かけたときは110番通報をお願いします。」と回答した。
- 5 委員から、「答申事項の「女性と子どもの安全を守る対策」については、私も防犯協会会員として小学校のパトロールなどで協力します。」との意見があった。
- 6 委員から、「防犯カメラの設置に積極的に取り組んで欲しい。」との意見に、署長が、「先日、区に対し防犯カメラ運用の維持費の補助について要請を行いました。」と回答した。

その他

第2回警察署協議会の開催は9月を予定している。

詳細な会議録については、各警察署及び警視庁情報公開センターにおいて閲覧することができます。